

令和元年度 結の故郷中学生みこしダンスパフォーマンス 教員まとめ

部会のもち方について

▲後々の訂正が多い。把握して伝える時間が持てないし、プリントするのも大量で困った。(開)

ダンスについて

【振り付けについて】

▲振り付けはもっと単純化(1拍に一つの振り)し、振り付けの順番を統一し、覚えやすくする。(開)

▲振り付けが難しい。学校での練習時間の確保が厳しい。(開)

▲ダンスの練習は、基本、7月に入ってからの体育の授業3～5時間(クラスによって違いあり)と、講師の先生を招いての1時間、夏季休業に入ってからの登校日程度なので、なかなか、振り付けを覚えたり、揃えたりすることが難しかった。もうすこし、単純な動きにしてほしい。(陽)

▲振り付けの難度が高いように思う。(尚)

▲学校で練習する時間が減り(本校は合計4時間)、ダンスの仕上がりが十分にできない現状で、この活動の教育的効果と必要性について、再考してはどうでしょうか。(尚)

【その他】

▲学校によっては指導が十分にできていない学校もあり大変そうであった。中には、真面目だが一生懸命やってもできないような子もいて当人はどう思っているのだろうかと思う。(上)

▲学校によってキレッキレにダンスできている学校とあまりそろっていない学校もあって仕上がり具合が一目瞭然で見に来ている人たちは一体どう思っているのかが気になった。(上)

▲ダンスは手が痛くなかったか。(和)

みこしについて

○生徒らは、練習から意欲的に取り組んだ。(和)

▲みこしが重い。生徒の力によってはかなり厳しい。つぶれそうだったので危険です。(上)

▲グラウンドでのみこしの動きがスムーズに行かず、開成のみこしが止まって待たなければいけない場面が多々あった。(開)

▲やはり、「リーダー」の方によって違いがあり、みこしの誘導や盛り上げ方がイマイチの面があった。学校で指導してきても、その場の雰囲気次第のところはどうしてもある。毎回そう思う。(開)

▲みこしの回数を減らす。ダンスまでが長すぎて、生徒が待ちくたびれている。(開)

・みこしの担ぎ方も教えてやれると良い。(担ぎ方 揺らし方 歩き方)(和)

めいりんグラウンドの会場について

【軒下の使い方について】

○軒下の日陰で待機できたのでよかったと思う。過ごしやすくなったと思う。(尚)

○日陰があつてよかった。(和)

▲六間会場より近いのはよかったが、軒下をもっと有効に使えばよかったのに、と思った。ダンスをする生徒がみこしの間グラウンドの炎天下のところ待機するくらいなら、軒下で待たせた方がよかったのではないかと。(実際、開成以外は軒下に行っていた。なぜ、その時指示して開成も入れて

くれないのか) (開)

▲みこしが終わった後の待機場所を陽明だけひさしの下に移動した。リーダーの方が、正面から見やすい位置に移動してくださいと言われて移動したところその流れで、ひさしの下に移動してしまった。(陽)

▲観客の場所、開成や陽明は屋根下に入れなかった。(開)

▲9:00からの本番が始まると、生徒は常に日向にいた。給水タイムはあったが、校舎の影を使うなどできるとよいか。(和)

▲待機生徒もみこしのかげ声を一緒にかけようとしていましたが、みこしとの距離が離れていて大きな声をかけることができませんでした。(上)

【砂埃について】

▲土ぼこりがひどく、コンタクトレンズの生徒にはつらいだろう。(開)

▲体を低くする振り付けのとき、口の中に砂が入ってつらそうにしている生徒が多かった。(開)

▲砂埃がひどかったのと、やはり暑すぎました。式典中も生徒たちが待機している場所は日陰にしてあげたい。(テントをたてるとか) (上)

▲ダンスはグラウンドだとかなり砂埃が上がって気になった。(尚)

【その他】

○めいりんグラウンドでやるほうが六間でやったときより時間も短くなり、暑さも和らげることができたと思います。熱中症対策としてよかったと思います。(尚)

○早く、スムーズに進みよかった。(和)

○駐車場が大きい。(和)

▲陽明のダンス前の控え場所は、観覧席の前になるため、ダンスの生徒が立っていると、みこしが観客から見えなくなってしまう。そこで、当日は独自の判断で、放送の指示が出る前に座らせた。(陽)

・みこしが観客に見えるように、ダンス班が座ると良い場面があった。(開)

▲水筒を置く場所が、いまひとつ明確でなかったので、当日リーダーとどうするか話をするようになった。新しい場所でやることだけに、明確に計画の中で示されるべきであったと思う。(陽)

当日の日程・運営について

○タイトなスケジュールの中、初めての会場で予定通り進むか心配でしたが、予定通り開始でき、生徒の無駄な時間もなく進んだことが良かったです。(上)

○実施日が1日早くなってよかった。(和)

○朝のうちに活動を終える(10:30まで)ことができてよかった。(尚)

○時刻も早くなり活動時間も短縮され、負担はかなり減ったと思う。(しかし、9時でもかなり暑く、熱中症には十分気を配る必要がありますね。)(和)

【開会式・閉会式について】

▲開会式が長いです。(上)

▲熱中症対策として、塩分チャージなどあったのはよいが炎天下での開会式は少し長いと思った。(上)

▲日陰の軒下がある会場だったので、生徒が炎天下で市長挨拶や太鼓の演奏を聞かなくてもよかったのではないかと。(尚)

- ▲ダンスだけのことを言えば、グラウンドでそのまま解散してもよいのではないか。(尚)
- ▲みこしとダンスの閉会式までの生徒の動きが慌しいので生徒の感想はカットして、運営者側からのご高評のみにして時間に余裕を持たせてはどうか。カットした時間でダンスの生徒は手洗いをしたり、みこしの生徒ははっぴの回収をしたりする時間にしてはどうでしょうか。(尚)

【熱意交流や挨拶について】

- 各中学校の意気込みや代表者の挨拶はすばらしかったと思う。(尚)
- みこしやダンスの演技の中で教育的な価値を作るためには意気込み交流や熱意交流、生徒の挨拶が必要だと思う。(尚)
- 代表生徒の意見交換は良かった。(開)
- ▲熱意交流で開成のが長すぎたとの意見が保護者から出た。時間の目安は、1分でなく30秒でいいのかもしれない。(陽)
- ▲生徒の話が長い学校があった。短くして欲しい。(上)
- ▲熱意交流は、1分程度との指示がありましたが、1分以内としたほうが長くならず良いと思います。もっと短くしたほうがよい。ダンスの生徒は、最後にやる1回の演技のためにずっと炎天下で待っていたので、待機の時間を短くなるようにしたほうがよいと思う。(尚)
- ▲暑さを考えると生徒の言葉は省略してもよいのではないか。(尚)

【暑さ対策について】

- ▲1時間早めたが暑かった。予報で31度だったが、34度くらいあったのではないかとの話である。ダンスの生徒が炎天下に30分座って待機していたが、良くないように思える。ダンスの時間になったら、みこしと入れ替えでダンスが入場すればよい。との意見が職員から出ていたし、保護者からもそのような意見が出ていた。ただ、開成、陽明のようにダンス、みこしが分かれているところはそれでいいかも知れないが、ダンス、みこしを兼ねている上庄、尚徳、和泉は出ずっぱりであるから、このような意見は勝手な意見であるように思える。上庄、尚徳、和泉からすれば、この行事はやめた方がよいという意見になるだろうと思う。(陽)
- ▲式が始まってから、最後のダンスの時間までの待ち時間が長かった。特に、当日は34度くらいあったので、熱中症にならないか気を張った。生徒たちの中からも、「まだ、ダンスにならないの?」という声が多数出ていた(最後という説明はしてあったにもかかわらず、炎天下で、じっと待っているのが辛かったため)。ダンスを、開会式後のオープニングにして、ダンスが終了した生徒は、観覧席で応援・観覧でよいと思う。(陽)
- ▲今年も暑い日が続く、学校での練習の時や当日の生徒の体調にとても気を遣った。当日は予報で31度以上なら中止と申し合わせがありましたが、実際に31度以上になっても決行するのだと思いました。どの時点で31度以上になると中止するのがよいのか再考してはどうでしょうか。(尚)

その他

【意義について】

- 中学校からのメッセージを市民に伝える場としていい機会だと思います。(尚)
- ▲生徒は、暑い中がんばっているが、時間をかけて取り組む教育的効果をそこまで感じない。学校や職員の方によって力の入れ方もちがうように感じる。本当に見せたい大野の中学生の素晴らしさは、

他にもあるように思う。(開)

▲時期や内容などをいくら工夫しても、こなすだけでやっとのイベントであり、実り豊かなものとはなりえない。(開)

▲他の中学校との交流が目的の一つのことだが、特に交流する場面がない。(開)

▲みこしやダンスの発表の場としてはあまり必要性を感じない。(尚)

▲中学生みこしには違和感を感じています。中学生自身が目指すお手本みたいなものない中、やらされている感をぬぐえませんが。(高校生または大人の元気で勇壮なみこしがいいです。)中学生はなくても良い。(上)

【実施日について】

・県外の実家へ帰省していた子もいると思うが、来年どうなるか考えていただけるとありがたい。(上)

▲せっかくの連休が1日のために連休でなくなってしまった。なくても良い。(上)

▲来年は13(火)14(金)15(土)16(日)となり、13(木)にこの行事があると、教員の休暇がとても少なくなる。12(水)にできるといい。(城まつりの行事なので難しいか・・・)(和)

【教員の負担について】

▲担当になる教員の負担が大きい。(開)

▲お盆に遠くへの外出ない家庭にはいいかもしれませんが、お盆の時期の教員の負担が大きいです。生徒も暑い中ダンスがあつて本当によく疲れていました。(上)

【今後の方向性について】

▲みこし・ダンスは、城まつりを盛り上げるために10年前にスタートした中学生のパフォーマンスですが、運営を見直しても良い時期だと思います。数年かけてでも地域の自治会、区長会、青年会などへ下ろす方向で考えてはいかがでしょうか。参加者を募り、六間通りで夜の盆踊りとみこしに移行していくと一般の方の参加する機会にもなると思います。(尚)

▲今年が10回目ということで、切りのいいところで終わりにして、来年からはやらないというふうにしてはいけないのだろうか。(開)

▲反対意見が多いのに、なぜこのイベントはいつまでも継続されるのか?(開)

・やりたい子もいると思うので、純粹に希望者(ボランティア)を募って、その範囲の中でパフォーマンスを見せたり、街中をみこしが練り歩いたりすれば良いと思う。(学校と切り離して)(開)

・今後のみこしダンスの存続は・・・?毎年楽しみにしている方がいるのであれば良いが、学校関係者、保護者が大半ならば検討しても良いのでは・・・。(和)

【その他】

▲生徒の活躍を市の広報誌やマスメディアを通して大々的に発信して欲しい。(上)

▲法被は112数がそろってあつたが、黒い紐65しかなかった。これが一番困った。後で、黒い紐をみつけて全員に渡す事ができて安心したが・・・。法被と黒い紐の数をきちんとそろえることは最重要と思える。あわせてはちまきもこの時いっしょに渡せば良いのでは?陽明は間違えて1年生に配ってしまった。「みこし用はちまき112」とかメモ書きがはちまきと一緒にあれば間違えなかっただろうと思う。(陽)